

質問	タムスロシン塩酸塩 OD 錠 0.1mg「ケミファ」の簡易懸濁法での投与は可能ですか？
回答	<p>タムスロシン塩酸塩 OD 錠 0.1mg「ケミファ」は、55℃の温湯または水を用いて簡易懸濁法による経管投与が可能であると考えられました。ただし、本製剤は徐放性顆粒含有の製剤であるため、徐放構造への影響を考慮し崩壊時間を 10 分以内とすることが望ましいです。</p> <p>詳しくは添付のデータをご覧ください。</p> <p>本資料の情報に関する注意：本資料には承認を受けていない品質に関する情報が含まれます。試験方法等が確立していない内容も含まれており、あくまでも記載されている試験方法で得られた結果を事実として提示しているものです。医療従事者が臨床適用を検討する上での参考情報であり、加工等の可否を示すものではありません。</p>
参考資料	【タムスロシン塩酸塩 OD 錠 0.1mg「ケミファ」】 簡易懸濁法に関する資料